

【田老 新春箏コンサート (2012/1/8)】

お世話係含め、総勢25名

看護婦さんもいます。念のためです。

演奏は、移動の疲れと緊張、練習不足で残念。春の海はブラボーでした。



演奏終了後には、
楽器との触れ合い
コーナーもあり、
みなさん興味芯々
でした。

【田老 新春箏コンサート イベント班(2012/1/8)】



かわいキャンプからは、総勢18名のボランティアが集まってくれました。みんな、この日のイベントのために集まってくれました。遠くは九州からわざわざ来てくれて、タヌキの着ぐるみを着てます。本人いわく、「寒さに負けた」と言っていますが、まんざらでもない様子です。



ポップコーン、綿菓子班も準備開始



↑こちらは、手作りのすごろく班、最初は嫌がってたけど、蓋を開けてみれば一番ノリノリでした。



餅つき班も準備完了。まあ、ほとんど餅つき機で作ってしまい、子供たちに最後の一突きの形式です。



↑おーい! さっきから練習と試食ばかりの気がするんだが?



↑ たぶん、きちんと手は洗っているはず?



←この少年も、避難所にいた頃から一生懸命お手伝いしてくれた少年です。ちょっと見ない間に大きくなってました。横に… 大丈夫か?



ポップコーンと綿菓子につられてお子様たちがワラワラと湧いてきました。避難所の頃から変わってねーな、お前たちは!!



後ろのすごろくコーナーに注目!!結構子供たちが集まっています。自分たちでマスを作って手作りすごろくの完成。盛り上がってました。



おお〜っと! お巡りさんも飛び入り参加、聞けば正月返上だって。良かったね。正月満喫できて...



こちらも、凄い一コマなんです。一人暮らしのお婆ちゃんとボランティアの子の交流。しっかりと手を握って相手の目を見てお話を聞いています。この時間が本当に大事ですよ。



この会場で、おばあちゃんたちと家族団らんしています。企画して良かった〜!!演奏だけじゃなくこうした触れ合いが生まれたことが嬉しいです。



避難所で知り合った被災者と久々の再開、元気そうで何よりです。



黒石市の生田流日本
山崎みつ子代表

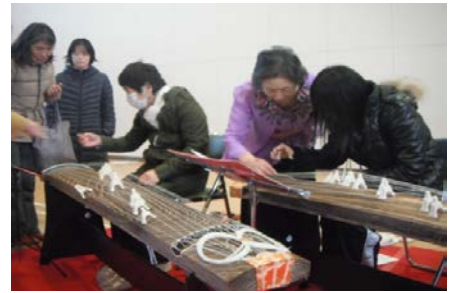


琴や尺八で心癒やす 黒石市の山崎社中 被災地・宮古を訪問

当山会山崎社中(山崎みつ子代表)がこのほど、同市の姉妹都市岩手県宮古市で開かれた「新春箏(ことう)コンサート」に参加し、仮設住宅などで暮らす被災者を、琴や尺八などの優しい音色で慰問した。コンサートは被災地で復興支援活動が続けるボランティア団体「かわいキャンブボランティア」が主催し、宮古市田老地区のホテル・グリーンピア田老で開催した。山崎代表の門下生を、琴や尺八などの優しい音色で慰問した。コンサートは被災地で復興支援活動が続けるボランティア団体「かわいキャンブボランティア」が主催し、宮古市田老地区のホテル・グリーンピア田老で開催した。

や、平川市などに住む演奏仲間ら24人が参加し、被災者やボランティアら約200人を前に、琴や尺八で「きらきら星」「さくらさくら」「春の海」などを披露した。演奏後は、琴や尺八の体験演奏などで被災者と交流を深めた。

山崎代表は「被災者の皆さんは真剣に聞いてくれた。津波で琴を流されたという被災者の人も『また(琴を)やりたい』と前向きな気分になってくれたよ。うで、うれしかった。また機会があればぜひ伺いたい」と話していた。(白鳥昌平)



箏コンサートを支えてくれた
素晴らしき???仲間たち
のはず、たぶん。

みんなありがとう!
そして、盛岡市社会福祉協議会
『かわいキャンブ』のスタッフの皆様のご
協力と、ご尽力のおかげです。本当に感謝
します。



山ガールのマリちゃんスゲーっ!! 一発で音出しちゃったよ。それに比べて、タガネっちは... 情けね~! 帰りのバスに乗せてもらえたかな?やっぱりお約束の...

